

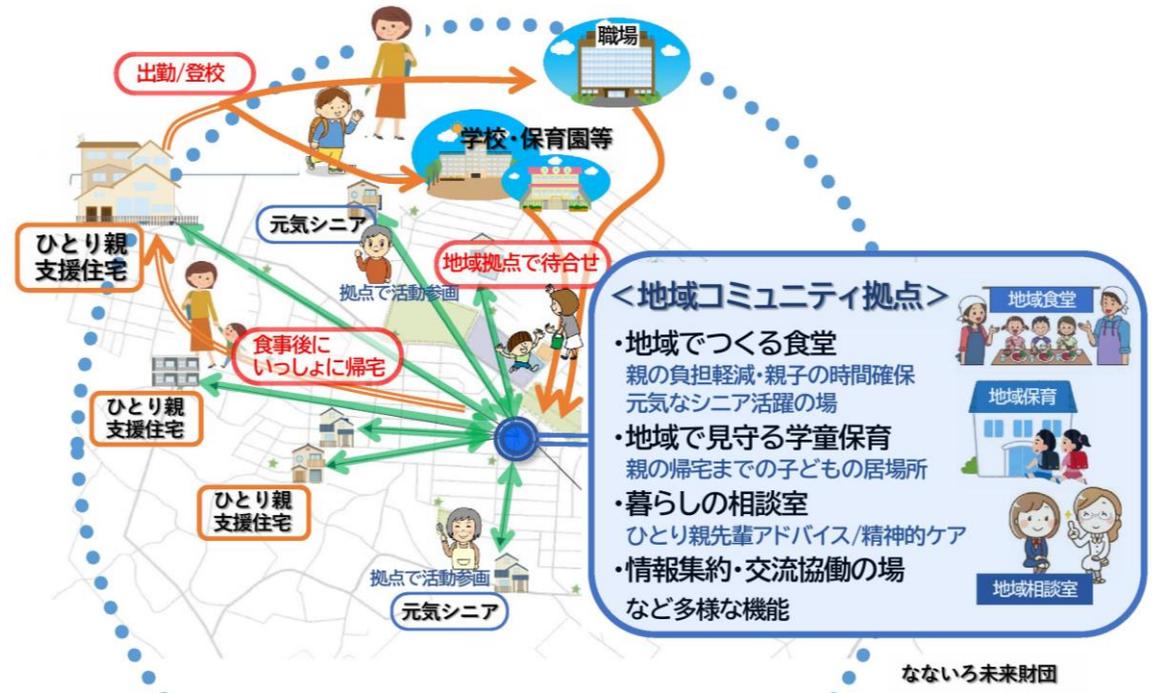
ひとり親世帯等が集う地食堂の運営を通して地域課題を抽出するとともに、拠点づくりや住まいの支援のあり方等について検証を行う。

- 子育て世帯、特にひとり親世帯の貧困は全国的な課題であり、対象地域でも例外でない。ひとり親世帯への支援は「住まい」を含めた支援の重要性が指摘されている。
- 本提案は、対象地域で多様な地域コミュニティの醸成、居場所形成等に取り組む提案者が、親子世帯への「食」「居場所」「見守り」等の支援と併せ、「住まいの支援」を行うことを目的に、ひとり親世帯等が集う地食堂の運営を通して地域課題を抽出するとともに、拠点づくりや住まいの支援のあり方等について検証を実施する。

事業概要

代表提案者	一般財団法人なないろ未来財団
共同提案者	なないろのとびら診療所、 株式会社kotonoha Lab.、 株式会社ことのは医療研究所
事業実施場所	岩手県盛岡市
事業実施内容	地域状況の把握と課題抽出、住まい方と地域拠点のあり方検討、居住支援のあり方検討 等
事業実施期間	令和3年12月～令和4年12月

事業展開イメージ



評価委員会での評価内容

- ひとり親の「住まいの支援」はこれまで不十分であり、重要な視点である。技術検証のテーマ設定や調査方法も明確であり、これまでの提案者の実績を活かし、有意義な調査事業を期待したい。
- 取組みを通し、地域食堂の新しいモデルや概念が提案されることを期待したい。